

第3回瀬戸内市長杯・牛窓オリーブカップヨットレース

帆 走 指 示 書

1.適用規則

1.1 セーリング競技規則2017-2020(以下RRSという)に定義された規則を適用する。ただし、この帆走指示書で変更されたものを除く。なお、レース公示と帆走指示書に矛盾がある場合は、帆走指示書を優先させるものとする。

1.2 レース艇以外の船舶に対しては、海上衝突予防法による。

2.責任の所在

2.1 艇と乗組員の安全はオーナーの義務であり、オーナーは所有艇が十分に艤装され且つ必要な耐航性を保ち、荒天の海に適した経験豊かなクルーを乗り組ませるようにしなければならない。オーナーは艇体、スパー、リギン、セールおよび全ての設備を確実に整備し又安全備品が適正に維持格納され、それらの使用法と置き場所を乗組員に熟知させておかなければならない。

2.2 本レースにおいて主催、運営、後援、協賛、協力にかかわる団体は、レース参加艇の乗組員及び艇体の安全、物理的損傷または人身傷害もしくは死亡について何等責任を負うものではない。

3.参加者への通告

3.1 参加者への通告は、レース本部に設置された公式掲示板に掲示される。

3.2 レース本部は、牛窓ヨットハーバー特設会場に設置する。レース本部には赤色牛窓旗を掲揚する。

3.3 帆走指示書に変更がある場合は、10月7日(日)AM8:00までに公式掲示板に掲示される。

4.陸上で発する信号

4.1 陸上で発する信号はレース本部付近のポールに掲揚される。

4.2 L旗が揚げられた場合には、帆走指示書の変更、もしくは連絡事項が公式掲示されている事を意味する。

5.レースの日程

2018年10月6日(土)

15:30~16:45 出艇申告受付 (レース本部)

17:00~17:30 開会式・艇長会議 (クラブハウス2階大会議室)

2018年10月7日(日)

7:00~7:45 出艇申告(当日来航艇)

8:00 パレード艇長会議

*8:50 パレードスタート(YH沖~唐琴瀬戸通過)

9:55 第1レース 予告信号

瀬戸内市長杯クラス・牛窓オリーブカップクラス同時スタート

無風、ゼネラルリコール等によりスタート時間が変更されても、レース終了時刻は変更されない。

14:00 // レース終了時刻

15:00~ 表彰式 (特設ステージ周辺)

6.クラス

瀬戸内市長杯クラスと牛窓オリーブカップクラスに分ける。

また、牛窓オリーブカップクラス内には、ウッドポートクラスを設ける。

各クラスとも1レースをもって成立する。

7.レースエリア及びコース

7.1 レースエリア及びコースについては、2018年10月7（日）第3回瀬戸内市長杯・牛窓オーリーブカップヨットレース：別図に示すとおりであるが、マーク位置は概略を表したものであり、位置の不正確さは救済要求の根拠にはならない。これはRRS60.1（b）を変更するものである。

7.2 各マーク・コミッティーボートの通過する側をコース図に示す。

8.マーク

マークは、オレンジ色の三角錐形パイとする。マークが破損・流失した場合には、予備のオレンジ色の三角錐形パイ又は、M旗を掲げたコミッティーボートで代替する。

9.スタート及びフィニッシュ

9.1 レースは、RRS26に従いスタートする。

信号種別	視覚信号	音響信号	スタート信号 までの時間
予告信号	赤牛窓旗掲揚	1声	5分
準備信号	P旗掲揚	1声	4分
1分前	P旗降下	長音1声	1分
スタート信号	赤牛窓旗降下	1声	0

*準備信号以降のエンジン推進は、15項以外の場合を除いてできません。

9.2 第1レースのスタートラインは、スターボードエンドに位置するコミッティーボートの緑色旗を掲揚したマストとマークの間とする。

9.3 スタート信号後、15分以降、スタートラインは消滅し、15分以内に、スタートしなかった艇は、「DNS」と記録される。

これはRRS付則A4を変更するものである。

9.4 フィニッシュラインは、スターボードエンドに位置する青色旗を掲げたコミッティーボートの緑色旗を掲揚しているポールもしくはマストと、ポートエンドに設置されたオレンジ色の三角錐形パイの間とする。

9.5 第2レース（瀬戸内市長杯クラスのみ）は、第1レースに引き続いて行われる。すなわち、第1レースのフィニッシュが第2レースの各艇のスタート時刻となる。なお、リミットマークをポートサイドに見て回航の後、次レグへ向かう。

10.タイム・リミット

第1レースおよび第2レースのタイム・リミットは14:00とし、RRS28.1に定められたコースを帆走して、当該時刻までにフィニッシュできなかった艇は「DNF」と記録される。これはRRS35及び付則A4を変更するものである。

11.コース短縮

11.1 第2レース（瀬戸内市長杯クラス）は、コースの短縮を行うことがある。この場合のフィニッシュラインは、S旗と共に青色旗を掲げたコミッティーボートの緑色旗を掲揚しているポールもしくはマストとオレンジ色の三角錐形パイの間とする。

12.順位

12.1 本レース委員会が決定するTCFを採用する。各艇の所要時間にTCFを乗じた修正時間により順位を決定する。

12.2 同一修正時間（秒未満四捨五入）の場合は、TCF値の低い艇を上位とする。

12.3 瀬戸内市長杯クラスは、『低得点方式』とし、2レースの合計得点をもって、順位を決定する。これは、規則A2を変更している。タイの場合は、第1レースの得点で順位を付ける。

13.抗議と救済

13.1 抗議しようとする艇は、RRS61の要件に基づくとともに、フィニッシュ後、速やかに

フィニッシュラインに位置するコミッティーボートに申し出ること。

13.2 抗議書の提出締切時刻は、RRS 61. 3を変更し、レース終了後60分以内とし、レース本部において受け付ける。

13.3 レース委員会またはプロテスト委員会による艇への抗議の公示をRRS 61. 1 (b)に基づき伝えるために公式掲示板に被抗議艇の艇名を掲示する。補助として、関係者に参加艇搭載の通信手段により連絡する。

13.4 RRS 第2章以外の規則違反について、プロテスト委員会が決めた場合には、失格より軽減することができる。また軽微な規則違反に関しては、ペナルティーを課さないことがある。

14.安全規定

14.1 乗員数は2名以上とする。

14.2 全ての参加艇は、ゼッケンを前方右舷側に取り付けること。

ゼッケンは出艇申告受付時に貸付する。

14.3 出艇申告を行い、スタートしない艇は、レース委員会に報告しなければならない。

14.4 棄権艇は、レース委員会にすみやかに連絡しなければならない。

14.5 レース参加艇は、ゼッケンの返納をもって、帰着申告に替える。フィニッシュラインのコミッティーボートもしくは、レース本部受付にて行う。帰着申告は、最終レース終了後60分以内に行なければならない。

14.6 競技者は水上にいる間は常に、個人用浮揚用具を着用すること。膨張式個人用浮揚用具は、すべての着衣の上に装備しなければならない。個人用浮揚用具は、国土交通省形式承認 TYPE A か同等品（認証・桜、マーク付き）の「小型船舶安全規則に規定する小型船舶用救命胴衣」でなければならない。これは第4章前文及びRRS 40を変更するものである。

14.7 落水、事故等が生じた場合、すみやかにレース委員会へ報告する事。

15. 一時的なエンジンの使用

規則 42.3(h)を次の通り変更し、適用する。

15.1 艇は、次の条件で、そのレースで著しく有利にならない場合には、エンジンまたは他の方法で推進することができる。

①コース上の障害物（灯標、灯浮標、定置網等）または船舶との衝突を緊急に防止しなければならない場合

②強風または無風、または強潮を含む極端な天候から避難しなければならない場合

15.2 艇がエンジンを使用した場合、使用開始時刻および停止時刻（または稼動時間）、および使用マイル数を記録した申告を、当該クラスのレース終了後60分以内にレース本部に提出しなければならない。

15.3 申告に基づき、プロテスト委員会は適当と判断される値の「タイムペナルティー」を課すことがある。

16.賞

瀬戸内市長杯と副賞、その他各賞

牛窓オリーブカップと副賞、その他各賞、ウッドンボートクラス賞

17.特記事項

17.1 気象状況によっては、レースを中止する場合がある。

17.2 レース終了後2時間を経過しても、大会本部に連絡のない艇については、第六管区海上保安部(118番)に捜索の要請を行う事がある。

17.3 下記事項に違反した場合は、抗議の対象となる。

・安全救命設備を完備すること。

・申告乗員と実際の乗員が一致すること（人数の増減・異なった氏名）

17.4 コミッティーボートには「オレンジ色旗」を掲げる。

18.搭載物品等の放置禁止

本レース参加艇は、艇に関する所有物等を泊地の施設内、特に係留施設付近等に放置してはならない。